

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立御南中学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒700-0951

岡山県岡山市北区田中581番地

E-mail minanc@okayama-city.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~minanc/

幼児児童生徒数 男子 510名 女子 379名 合計 889名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳 ~ 15歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「共に支え合い心豊かにたくましく生きる生徒を育成する」ことを学校教育目標として、E S Dの実践を通して「健康で明るい生徒」「正しく行動する生徒」「自ら学ぶ生徒」の育成を目指している。

具体的には、環境、人権・平和に関する活動を柱に、①ボランティア活動、②人権・平和学習を行った。

### ① ボランティア活動

当校では、E S Dパスポートを活用（全校生徒に配布）したボランティア活動に学校全体で取り組んでいる。地域の社会福祉協議会、町内会、公民館や小学校、幼稚園などの多くの協力を得て、校外・校内で取り組んでいる活動が多くある。ボランティアに参加する生徒の数や地域からのボランティアを要請する数の増加から、年数を重ねるごとに定着が見られる。

また、E S Dパスポートが十分に活用されている。本年度は15ボランティア達成者が84名、30ボランティア達成者が6名となり、パスポートの定着もボランティア活動の活性化につながっていると考えられる。30ボランティアを達成した生徒の感想では、ボランティア活動を通して、地域の方々と仲良くしたり社会に貢献することの意義を感じたりしているといった、よりボランティアに積極的に取り組もうとする姿勢も感じられた。

※今年度のボランティア活動状況を添付ファイルにしています。

### ② 人権・平和学習

当校の人権学習では、目標に向けて当該学年の生徒の状況や課題に合わせて様々な題材を用いて学習を行うことができている。写真は3年生が実施した「命をはぐくむ授業」の様子で、実際に赤ちゃんやその母親との交流を通して他者を慈しむ心を育んだ。こうした取り組みを各学年がおこなうことで、生徒の気付きが効果的に促され、意識が変わり、行動に変化が出てくるなど、人権に対する意識が向上しているように感じられる。

平和学習については、校外学習を効果的に活用し、岡山空襲（1年）・広島平和学習（2年）・長崎平和学習（3年）と学習を繋げていくことにより、学年が上がるにつれて学びを深めることができている。内容についても、過去の事実を知り、現在を知り、未来に向けて自分が身近なところで何をできるか考えるようにしている。

※今年度の具体的な学習状況は添付ファイルにしています。

① の写真（西支援学校とのなかよし交流の様子）



② の写真（命をはぐくむ授業の様子）



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述:希望者が休日に地域のボランティアに自主的に参加する )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

平和学習は、校外学習などの時期に合わせて、地域や校外学習で訪れる場所で起こった過去の出来事を取り上げておこなった。調べ学習や講演、現地で感じることを通して、自分に何ができるのかを考え表現した。

人権学習については2学期を中心におこなった。学年ごとに題材を決め、体験学習をしたり、講演を聞いて生の声に触れたりしながら、自分の中でどのように考えが変わったかを整理し、その後の生活に生かそうとした。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

当校では校務分掌にESD推進担当という分掌を設け、各学年で1名ずつ担当者を決めている。担当者が当該学年での活動の中心的役割を担ったり、必要な情報のとりまとめをおこなったり、学習活動の中で中心的な役割を担ったりすることで、組織的かつ継続的な活動ができるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

地域の方々からは、「中学生が協力してくれるのがありがたい」といった意見や、「中学生やPTAが地域の行事や活動に参加することで参加者が増えた」といった意見が聞かれるようになり、依頼も増えているが、具体的な活動の評価は十分できていない。

校内での人権・平和学習では、学習後の振り返りをデータとして残し、次年度への参考資料としている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

岡山市教育委員会が発行している岡山市ユネスコスクール推進校・岡山市立高等学校実践事例集で当校の取り組み内容を紹介している。また、学校便りを通して、中学校での活動の一部が地域に紹介されている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

当校でおこなっているボランティア活動は、地域から依頼のあったボランティアを学校が全校生徒に紹介し、参加を希望する生徒が自主的に申し込み、地域でのボランティアに参加するという形をとっている。地域の社会福祉協議会、公民館、子どもセンター、町内会などからは多くの依頼があり、年々増える傾向にある。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

当校は、中学校区の全ての小中学校がユネスコスクールに認定されている。地域でのボランティア活動において、ESDパスポートを継続して活用している。そうすることで、小学校から中学校まで地域でのボランティアに継続して参加しやすくなっている。

また、市内の他のユネスコスクールとは、教育委員会が主催する研修で意見を交換するなどしている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

地域のボランティア活動に生徒が積極的に参加するようになったことでよい変化が見られる。地域の方々からは、「中学生が協力してくれるのがありがたい」といった意見や、「中学生やPTAが地域の行事や活動に参加することで参加者が増えた」といった意見が聞かれるようになっている。また、参加生徒の「自分が積極的に声掛けをしないといけないのに、逆に声掛けをされ、その気持ちに応えたいという気持ちになり、少しでもお互いが笑顔になれるように自分も一生懸命努力した」というような感想からは生徒の意識の変化も感じられるようになっている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

基本的には今年度をベースにして活動していきたいと考えている。1年生の学習について、岡山空襲に限らず、もっと地元のことを幅広く知る活動をESDに位置づけていきたいと考えている。地元の岡山について調べ、フィールドワークをおこなうことで地域のことを知り、そのうえで自分に何ができるか、どうしていきたいかを考えさせ、地域でのボランティア活動などに結びつけていくきっかけになるような活動にしていきたいと考えている。